

おり、9月末時点で29社が申請した。同部管理課の川内健二主任主事は「大手の登録は増えてきた一方で、中小はまだ少ない。少しでも登録のハードルを下げたかった」と語る。申請した会社の多くが、地場の中堅クラスだったという。

自治体だけでなく、建設業団体が独自に助成する動きもある。群馬県

建設業協会（群馬建協）沼田支部の会員が運営する利根沼田建設事業協同組合だ。登録の利点を周知するだけでなく、事業者登録費用とカード、リーダー設置費用を負担した。

21年度には、1人2500円を上限に各社10人まで技能者登録費用を全額助成している。群馬建協沼田支部では、会員企業全21社のCCUS登録

を達成した（図3）。

「下請けが元請けを選ぶような状況も見えてきた」と、群馬建協の青柳剛会長は言う。下請けから「この現場はCCUSを運用しないのか」との声も上がるようになったという。

下請けでもCCUS登録に意欲

下請けの専門工事事業社がCCUS登録を主導するケースもある。機械土工を手掛ける細村建設（埼玉県東松山市）は、CCUSで技能者の情報を可視化し、元請けの信頼を得るため、登録に意欲的に取り組む（写真1）。

雇用する技能者43人が全員登録済みで、うち19人がレベル4のゴールドカードを取得している。細村建設社長室の黒図茂雄室長は、「大手よりも早い段階で導入した。元請けのためにCCUSの利用マニュアルを作成したこともある」と振り返る。

細村建設は、国交省の「見える化評価制度」で星4つの評価を受けている（図4）。この制度は、専門工事事業社の施工能力を評価するもので、21年4月から運用が始まった。CCUSの登録者数や、レベル3以上の技能者の割合などが評価の基準だ。

機械土工では、5社が認定を受けている。現時点では実施機関や国交省のホームページで公表しているだけで、評価によるインセンティブはない。細村建設の佐々木達也社長は「最高評価を受けた会社を下請けに選んだ場合に総合評価で加点するなどの取り組みが進んでほしい」と話す。



細村建設の取り組み
 ・全ての社員が建設キャリアアップシステムに登録
 ・レベル4のゴールドカードを4割以上の社員が取得

写真1 ■「施工能力の見える化」で星4つの評価を受けた細村建設の佐々木達也社長（写真：本誌）

図4 ■ CCUSとの連携で専門工事事業社の施工能力を見える化

評価内容（★4つが最大評価）
 基礎情報：建設業許可の有無、建設業の許可年数、資本金など
 施工能力：建設キャリアアップカードの保有者数、カードのレベルが3以上の技能者の割合など
 コンプライアンス：処分歴、社会保険の加入状況など

【機械土工】

会社名	本社所在地	基礎情報	施工能力	コンプライアンス
小平興業	宇都宮市	★★★★	★★★★	★★★★
オーク建設	東京都江東区	★★★★	★★★★	★★★★
大東工業	札幌市	★★★★	★★★★	★★★★
北陸産業	東京都板橋区	★★★★	★★★★	★★★★
細村建設	埼玉県東松山市	★★★★	★★★★	★★★★

【切断せん孔】

会社名	本社所在地	基礎情報	施工能力	コンプライアンス
アール・シー・サービス	熊本県大津町	★★★	★★★	★★★
日本コンクリートカーテック	大阪府東大阪市	★★★★	★★★★	★★★★
山下工業	金沢市	★★★★	★★★	★★★
第一建興江島	札幌市	★★★★	★★★★	★★★★
カンター・アハンセ	大分市	★★★	★★★	★★★
三和工業	福岡市	★★★★	★★★★	★★★

国土交通省が2021年4月から運用を開始した「専門工事事業社の施工能力等の見える化評価制度」の評価結果。「基礎情報」と「施工能力」、「コンプライアンス」をそれぞれ4段階で評価した（資料：日本機械土工協会、ダイヤモンド工業協同組合）